

浜岡原子力発電所 5 号機 圧力抑制室での異物確認について

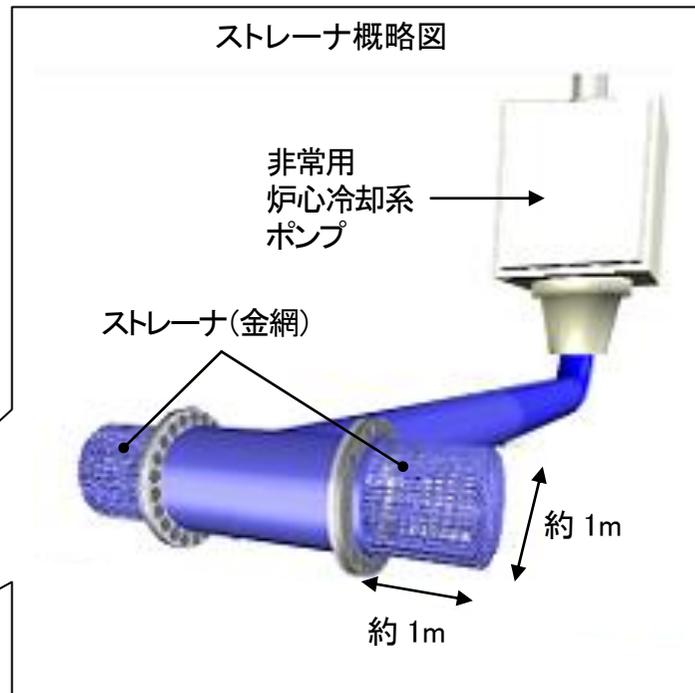
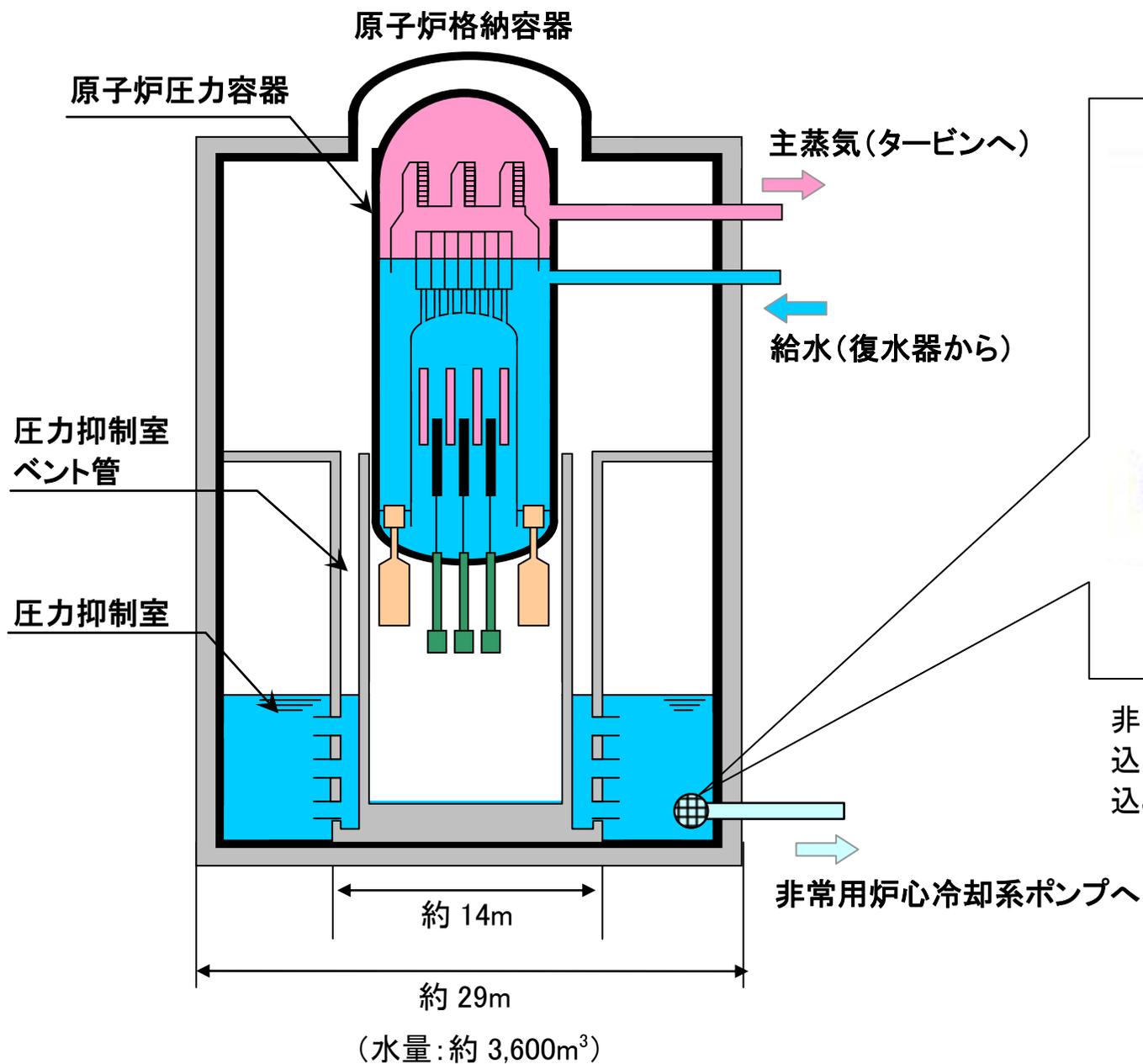
2010 年 5 月 7 日

発生号機	5号機（定期検査中） ：沸騰水型、定格電気出力 126.7 万キロワット
発生日	2010 年 5 月 6 日
状 況	<p>現在実施中の第 4 回定期検査において、5 月 1 日から 6 日にかけて圧力抑制室[※]内の目視点検を実施しました。</p> <p>点検の結果、針金 4 本、足場用ピン 1 本、溶接機用電極 1 本を確認し 5 月 6 日までにすべて回収しました。</p> <p>これらは、建設時または運転開始後の作業中に圧力抑制室内に落下したものと推定しています。</p> <p>圧力抑制室は、非常用炉心冷却系ポンプの水源となりますが、これらの異物は、その材質や形状から非常用炉心冷却系ポンプの水を取り入れるストレーナ（金網）を閉塞させることはなく、ポンプの性能や原子炉の安全に影響を与えることはありません。</p> <p>【圧力抑制室の水中部で確認された異物】 ①針金：全長約 160cm ②針金：全長約 35cm ③針金：全長約 13cm ④針金：全長約 17cm ⑤足場用ピン：長さ約 5.5cm</p> <p>【圧力抑制室ベント管内で確認された異物】 ⑥溶接機用電極：長さ約 7cm</p>
対 策	<p>当社は、これまでも異物侵入防止に努めてまいりましたが、今回の事象を踏まえ、今後も圧力抑制室への物品の持ち込み・持ち出し管理等を徹底してまいります。</p> <p>また、今後も定期点検毎に圧力抑制室内の目視点検を実施してまいります。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。
お知らせ基準	「表 2-9 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき。」に該当します。

※ 圧力抑制室は原子炉格納容器下部に位置し、水（約 3,600m³）を貯蔵している設備です。原子炉圧力容器につながる配管の破断事故などで、原子炉格納容器内に放出された蒸気を圧力抑制室ベント管を経由して水中に導いて冷却し、原子炉格納容器圧力の上昇を抑制するとともに、非常用炉心冷却系ポンプの水源としての機能を有するものです。

以 上

【圧力抑制室概要図】

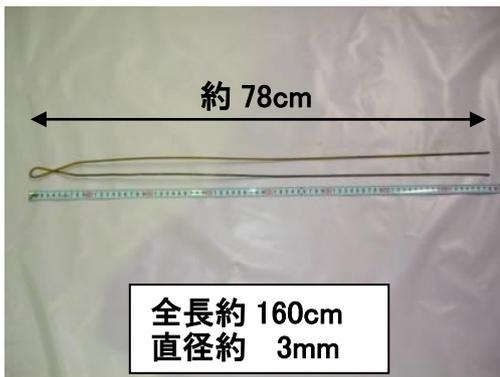


非常用炉心冷却系ポンプがゴミ等を吸い込み、ポンプを破損させないように吸い込み口に設置してある、ろ過装置。

【回収物一覧】

	種類		種類
①	針金	②	針金
③	針金	④	針金
⑤	足場用ピン	⑥	溶接機用電極

【回収物写真】



① 針金



② 針金



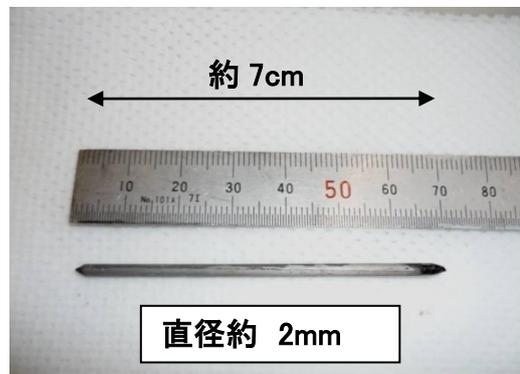
③ 針金



④ 針金



⑤ 足場用ピン



⑥ 溶接機用電極